

## 事業概要

### ハイポテンシャル若手人材向け新興国「留職」 プログラムfor Future Change Makers(FCM)

これまで日本企業の次世代育成プログラムとして提供してきた「留職」プログラムを、これから大きな飛躍が望まれる個人（大学生や若手社会人を想定）に対して提供することで、次世代のチェンジ・メイカーを育成するプログラムを開発・実証します。

具体的に本年度は、3名の参加者を募り、2-3ヶ月間にわたってASEANやインドのNGO/社会的企業に派遣し、社会課題の解決に向けた実践業務にあたります。

## 進捗状況と今後の展望

（進捗状況）

- ターゲット層（大きな飛躍が望まれる大学生や若手社会人）が多く存在しそうな、ソーシャルアントレプレナー養成塾やトビタテ留学卒業生、ベンチャー企業にアプローチして、参加希望者を募った結果、7名の応募あり。そこからクロスフィールズが面接を行って、プログラムとの適性やポテンシャルを精査した結果、3名の有力候補を選定。（3名とも、大学生ながら起業実績あり、それぞれの分野で活躍しているハイポテンシャル人材。活動領域や専門性、パーソナリティについてもそれぞれ異なっており、比較検討する上でも良い人選ができつつあるものと思料）
- 現在、3人にマッチする団体を選定中であり、マッチング結果も踏まえて11月上旬に派遣可否を最終確定。12月上旬から2月中旬まで現地業務を実施予定。

# 参考①) NPO法人クロスフィールズ② (留職FCM) スキーム



類型a
類型b
類型c
2次公募


**新興国「留職」プログラム For Future Change Makers**  
日本のハイポテンシャル人材を選抜して新興国のNGO/社会的企業に派遣し、自身のスキルを活かして社会課題の解決へと挑戦するプログラム

**受入先**

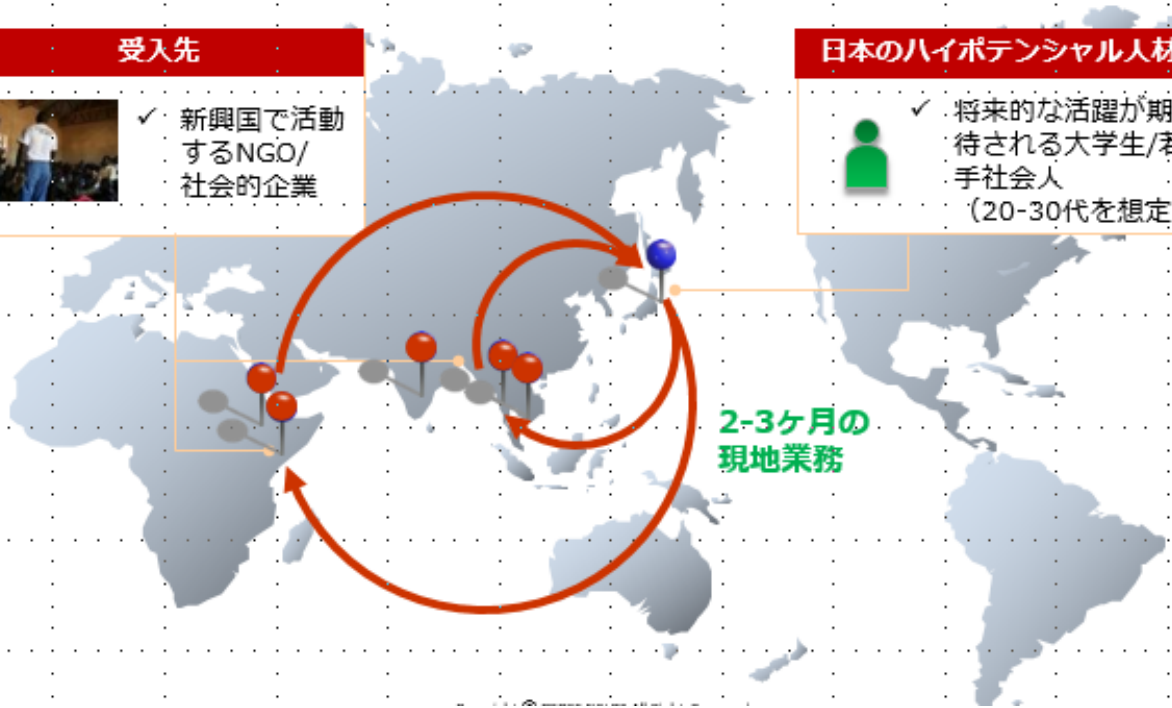


✓ 新興国で活動するNGO/社会的企業

**日本のハイポテンシャル人材**

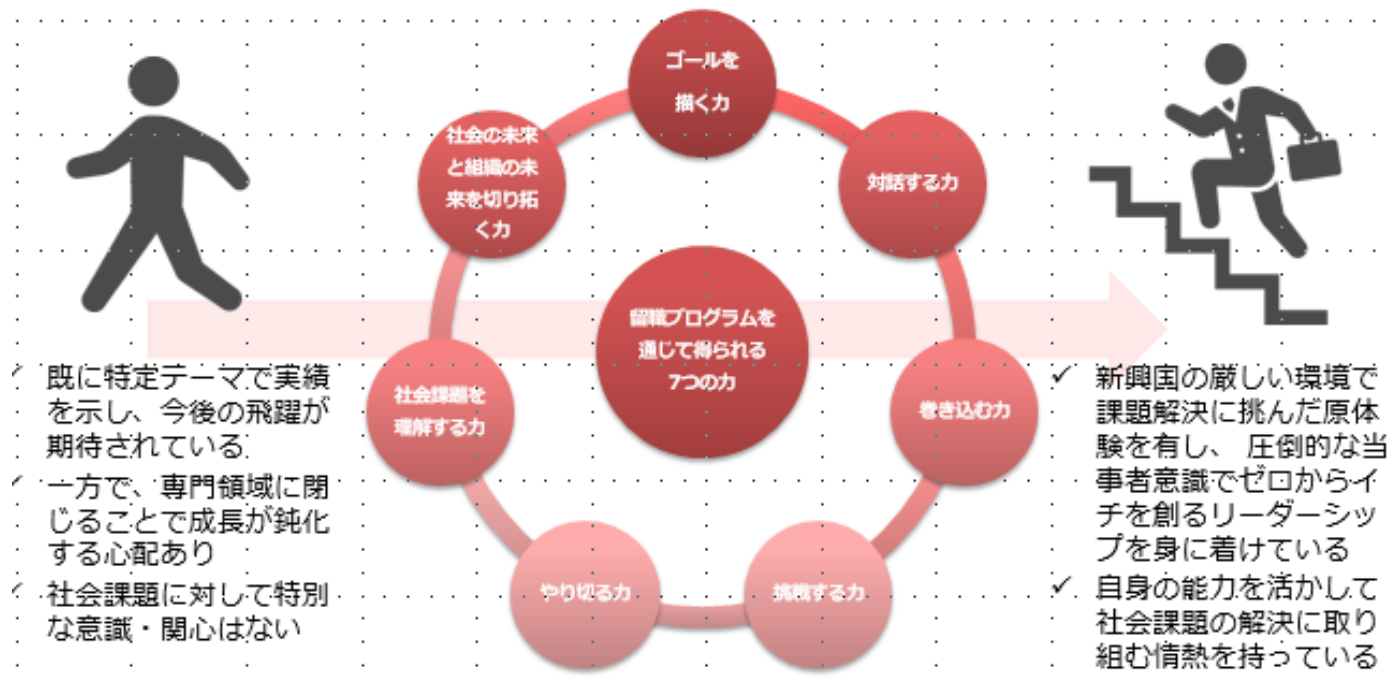


✓ 将来的な活躍が期待される大学生/若手社会人 (20-30代を想定)



# 参考②) NPO法人クロスフィールズ② (留職FCM) 事業効果

将来的な活躍が期待される日本のハイポテンシャル人材が留職プログラムを経験することで課題解決先進国を牽引する「チェンジ・メイカー」へと成長



- ✕ 既に特定テーマで実績を示し、今後の飛躍が期待されている。
- ✕ 一方で、専門領域に閉じることで成長が鈍化する心配あり
- ✕ 社会課題に対して特別な意識・関心はない

- ✓ 新興国の厳しい環境で課題解決に挑んだ原体験を有し、圧倒的な当事者意識でゼロからイチを創るリーダーシップを身に着けている
- ✓ 自身の能力を活かして社会課題の解決に取り組む情熱を持っている

※ 7つの力は、NPO法人クロスフィールズが人事コンサルタントの伊賀泰代氏と共同開発したリーダーシップ・アセスメントのツール (p.15に詳細あり) に基づくものである

# 参考③) NPO法人クロスフィールズ② (留職FCM) 応募要項



類型a

類型b

類型c

2次公募

1. 「社会課題の解決にコミットする当事者意識」と「現地団体に対して貢献できる何かしらのスキル・経験」を有している、日本と世界の未来を切り拓くハイポテンシャルな若手人材であること
2. 現地で業務が可能な十分な英語力を有していること  
(クロスフィールズが英語での面接を実施します)
3. 長期間の新興国滞在に耐えられる心身の健康状態を有しており、原則として現地派遣時点で20歳以上であること
4. 2018年12月～2019年2月のうち2～3か月間、アジアの新興国(※)に滞在し、受入先団体でフルタイムの活動が可能であること  
(渡航費・滞在費・現地生活費はクロスフィールズ側が負担します)

※派遣先は、インドネシア・インド・ベトナム・カンボジア、ラオス、フィリピン、タイ、マレーシア、ミャンマーの9か国のいずれかになります。